

Philanthropy Newsletter



企業と人の社会貢献

YMCAフィランソロピー協会は、
よろこびあえる未来を実現するために
シゴト*とまちに笑顔を広げる活動に取り組みます。
*私事から志事(社会貢献)へ

No.75
2021

アイデア × チャレンジで よろこびあえる未来を



CONTENTS

顕在化する社会課題
支援の歩み 止めることなく

フィランソロピーとは、ギリシャ語の「人間愛」という言葉に由来し、人間愛にあふれる社会を目指す、企業の社会貢献活動を表す言葉として用いられています。

顕在化する社会課題 支援の歩み 止めることなく

新型コロナウイルス感染症の長期化で、例年10月に開催している当協会の年次総会も「3密」の回避のため、書面とオンラインによる開催となりました。決算や事業計画などの各議案は、会員企業の回答をもって承認されました。

新型コロナウイルスによって、社会的な価値観や仕組みが大きく変化しつつあります。人同士の距離をとることが推奨され、これまで手を携え取り組んできたフィランソロピー活動も中断や見直しを迫られました。そのような中でも、ソーシャルディスタンス版「新入社員ボランティア入門講座」やオンライン形式の「おしごとカフェ」など、社会変化にあわせ新たな工夫を採り入れた活動も始動しました。

感染症や災害等でさまざまな社会課題が深刻化する中、社会貢献の歩みを止めることなく、さらなる困難に直面する子どもたちや人々のため「よろこびあえる未来」の実現に向けて進んでいきます。

Vision よろこびあえる未来を 実現するために

Mission シゴト*とまちに笑顔を広げる活動に取り組みます。

Value じぶん+1 (プラスワン) を価値観として、さまざまな場面で大切にします。

*私事から志事(社会貢献)へ



夏休み会社見学ツアー (2019年)

新型コロナウイルスによる2020年の活動の制約をふまえ、新年度も中期運営方針「フィランソロピービジョン2020」を継続。「新しい活動様式」を加え、「アイデア×チャレンジ」を掲げ、行動計画を策定しました。

1. オンラインを併用して「おしごとカフェ」を継続開催する
2. 感染症や災害等によって影響を受ける子どもたちへ社会体験の機会を提供する
3. 新型コロナウイルスの影響をふまえ、チャリティイベント・交流イベントを再考する
4. オンラインを採り入れながら、企業間の交流や研鑽ができる取り組みを模索する
5. 新型コロナウイルス感染症が企業の社会貢献活動に及ぼす影響やその対策について調査する

児童養護施設の中高生を対象に「おしごとカフェ」

コロナ禍の中 オンラインで開催

児童養護施設では、子どもたちがさまざまな事情で親元を離れて生活しています。児童福祉法に基づき、原則として18歳で自立を求められるため、進学や就職を機に施設を出る子がほとんどで、退所後の孤立や経済困窮が課題となっています。

中高生の職業観や経験を養い、自己決定力の育成を支援することで若者の成長と人材の活用を目指す。当協会は2019年に「おしごとカフェ」をスタートしました。2020年は、新型コロナウイルスの影響で、企業の採用活動や会



社説明会などの機会も激減。「おしごとカフェ」も、WEB会議システム「Zoom」を使った開催に。児童養護施設慈愛園子供ホームの協力で同園から4名の中高生が参加してくれました。

県内企業の6社が自作のフリップやスライドの資料を活用して、自社の業務や働き方について説明。生徒たちは真剣な面持ちで話に聞き入っていました。

企業参加者からは「これからのいろいろな人と出会って、考え方の違いも楽しめるようになってほしい」とエールを送りました。今後、当協会では複数の施設と回を重ねながら、「おしごとカフェ」を継続していく計画です。

前回に続いてさまざまな企業の方の話が聞けることができ勉強になりました。将来はプログラミングの仕事に就いて社会に役立ちたいです。



慈愛園子供ホーム 高校3年生

子どもたちにとってとてもよい経験になりました。企業と児童養護施設とのつながりができてうれしいですね。



慈愛園子供ホーム児童指導員 富永茜さん

早い時期に企業の生の声が聞けることは、中高生の皆さんにとって貴重な機会だと思います。ぜひいろんな企業に参加してほしいですね。



熊本電気鉄道 小野貴史さん



インタビューの全文は動画でもご覧いただけます。

新型コロナ受け ソーシャルディスタンス版 新入社員ボランティア入門講座を開催

設立以来、25年続いてきた新入社員ボランティア入門講座。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用や会場・車いすの消毒などさまざまな対策の中、形態を変えて開催しました。

4月6日(月)、熊本YMCA中央センターを会場に5社13名の新入社員が、福祉体験に挑戦しました。

参加者は一定の距離をとった状態で着席。例年はペアになって食事を食べさせ合う「食事介助」は、利き手を使わずにゼリーのフタを開けて食べる「食体験」に変更。単純な動作でも

思いどおりにいかないもどかしさを感じました。

また、続く車いす体験では、車いすの操作方法について説明を受けた後、街中で試乗。幅の狭い歩道の移動や普段は気づかないような段差でのつまずきで、社会に存在するバリアを実感しました。



フェアトレード・チョコレートでひと息 熊本豪雨 球磨郡の避難所を訪問

7月4日から続いた記録的な豪雨は、熊本県南部を中心に甚大な被害をもたらしました。

避難生活を送る住民の皆さんに少しでも和んでいただこうと当協会を通じてフェアトレード・チョコレートを球磨村民の避難所へと届けました。

10月5日(月)、肥後銀行の野田彩歌さんと事務局スタッフが球磨村の村外避難所となった旧多良木高校を訪問しました。

フェアトレードシティくまもと推進委員会から提供を受けたチョコレートは、昼食の時間にあわせ住民の方々に直接声をかけながらお

渡し、大いに喜ばれました。また、避難所を運営するYMCAとピースポート災害ボランティアセンターのスタッフにもプレゼント。チョコレートは、もう一箇所の避難所である球磨中学校へも贈られ、ひとときのくつろぎを提供できました。



配布の様子は動画でもご覧いただけます。

2021年、 熊本市はフェアトレードシティ認定10周年を迎えます。

2011年6月4日、日本初・アジア初・世界で1000番目のフェアトレードシティに認定されました。認定には、6つの基準（※）があり、全て達成するには、市民、行政、企業、学校など、市全体が一丸となって取り組む必要があります。2000年代前半、「フェアトレード」という言葉が一般的でなかった頃から、普及活動に取り組んできた長年の努力が実を結び、フェアトレードシティくまもとが誕生しました。



2014年3月には、第8回フェアトレードタウン国際会議 in 熊本をヨーロッパ以外で初めて開催しました。世界21カ国より、フェアトレード関係者や生産者など300名以上が参加しました。2015年の日本フェアトレード・フォーラムの認知度調査では、熊本市でのフェアトレード知名度（フェアトレードという言葉を見聞きしたことがある人の割合）は65.0%と、全国平均54.2%を大きく上回りました。また、前回2012年の58.3%より6.8%上がりました。フェアトレードシティ認定や国際会議をはじめ、市民一人ひとりの行動の結果だと言えます。

2016年の熊本地震でフェアトレードシティくまもと推進委員会事務局は全壊、2018年同事務局は火災で全焼しました。度重なる災害を乗り越え、来年10周年を迎えます。

フェアトレードシティの継続には、認定更新が必要です。熊本市は、2013年と2018年（2016年の熊本地震で延期されたため）の2度更新を受けています。これからもフェアトレードシティくまもを継続するには、市民の理解と行動が欠かせません。また、熊本市はSDGs未来都市にも認定されています。貧困の解決のために始まり、生産者の人権、環境を守るフェアトレードは、持続可能な社会を目指すSDGs全ての目標達成に貢献します。フェアトレードシティくまもと10周年を機に、「知っている」から「実践する」まちを市民一丸となって目指したいと思えます。

A フェアトレードシティくまもと10周年事業実行委員会

※参考 フェアトレードタウン認定基準

- 基準1：推進組織の設立と支持層の拡大
- 基準2：運動の展開と市民の啓発
- 基準3：地域社会への浸透
- 基準4：地域活性化への貢献
- 基準5：地域の店（商業施設）によるフェアトレード製品の幅広い提供
- 基準6：自治体によるフェアトレードの支持と普及

会員企業

税理士法人 **近代経営**

熊本トヨタ自動車

熊本日日新聞

熊本銀行

RKK熊本放送

株式会社 城野印刷所

肥後銀行
HigoBank

RICOH リコージャパン株式会社

医療法人社団愛育会 福田病院

株式会社エフエム熊本

株式会社紙弘

亀井通産株式会社

株式会社亀井ランチ

九州産業交通ホールディングス株式会社

九州電力株式会社熊本支社

九州旅客鉄道株式会社熊本支社

九州労働金庫熊本県支部

熊本朝日放送株式会社

株式会社熊本県民テレビ

株式会社熊本製綿所

熊本第一信用金庫

熊本電気鉄道株式会社

熊本ヤクルト株式会社

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社

株式会社スーブル

株式会社 TAKATA PAPER PRODUCTS

株式会社テレビ熊本

東光石油株式会社

日立キャピタルオートリース株式会社九州支店

富士ゼロックス熊本株式会社

有限会社ゆうしん

(31社 2021年1月現在)

Philanthropy Newsletter



YMCAフィランソロピー協会は事務局：公益財団法人熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8
TEL 096-353-6397 FAX 096-324-7877
E-mail : ymca.philanthropy@gmail.com
http://www.kumamoto-ymca.or.jp/philanthropy/

ニュースレター No.75

編集：YMCAフィランソロピー協会事務局

印刷：株式会社城野印刷所

発行：2021年1月



よろこびあえる未来を